

令和2年度学校自己評価システムシート(県立羽生実業高等学校)

目指す学校像 社会に有為な産業人を育成する

重点目標 1 わかる授業、伸ばす授業の実践と進路実現を図る
2 生徒指導を徹底し生徒のマナーアップを図る
3 地域と連携・協働する開かれた学校づくりを推進し、産業人としての意識を醸成する

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度 A ほぼ達成(8割以上)
B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上)
D 不十分(4割未満)

※令和2年度最終回については、「緊急事態宣言」を受け開催しておりません。学校関係者の皆様には、関係資料を配布し、意見・要望・評価等書面で頂いております。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 0名
生徒 0名
事務局(教職員) 0名

Table with 7 columns: 年度, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. Contains 9 rows of evaluation data.

Table with 2 columns: 学校関係者評価, 実施日 令和年月日. Contains 2 rows of evaluation data.